

# レカネマブ診療の現状と課題



東京都健康長寿医療センター 脳神経内科

井原 涼子

# 「アルツハイマー病」ってどんな病気？

物忘れが出る病気ですよね。  
あと徘徊したりとか？

自分の親がそうだったんです。  
私の顔もわからなくなって…

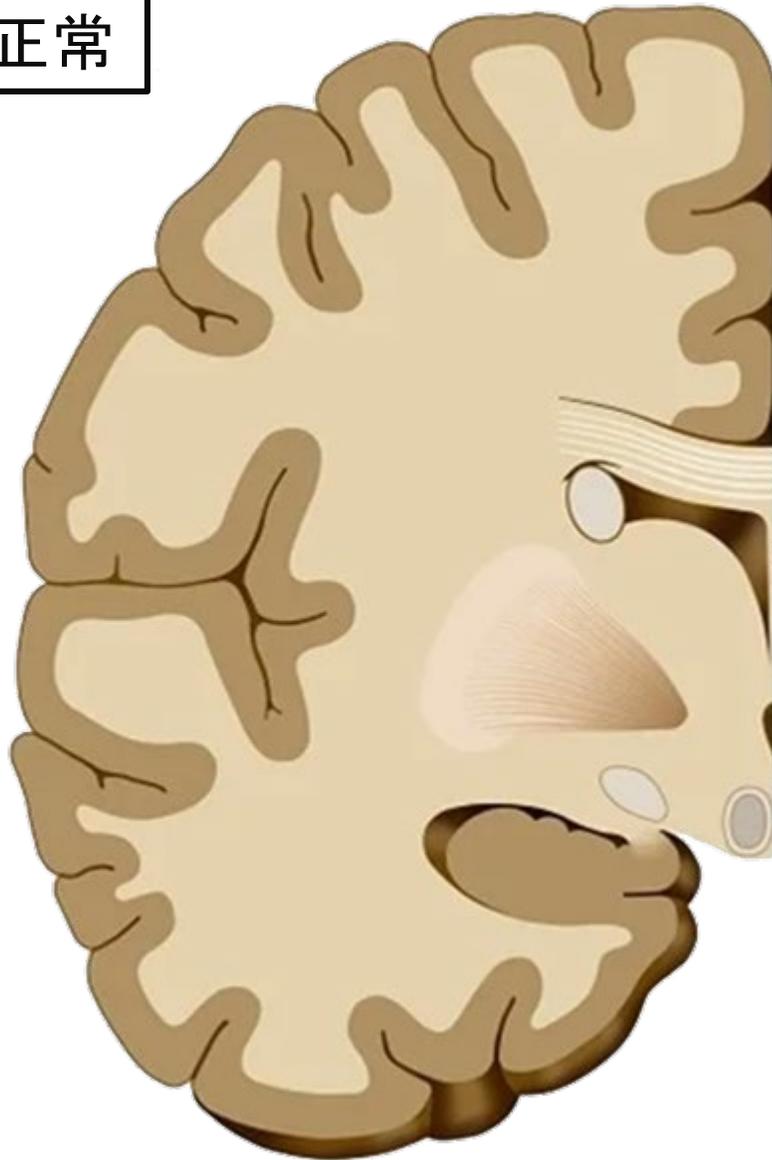
脳がやせる病気ですよね？  
海馬という場所がやせる。

どれも一面を正しく表現していますが、  
本質ではありません

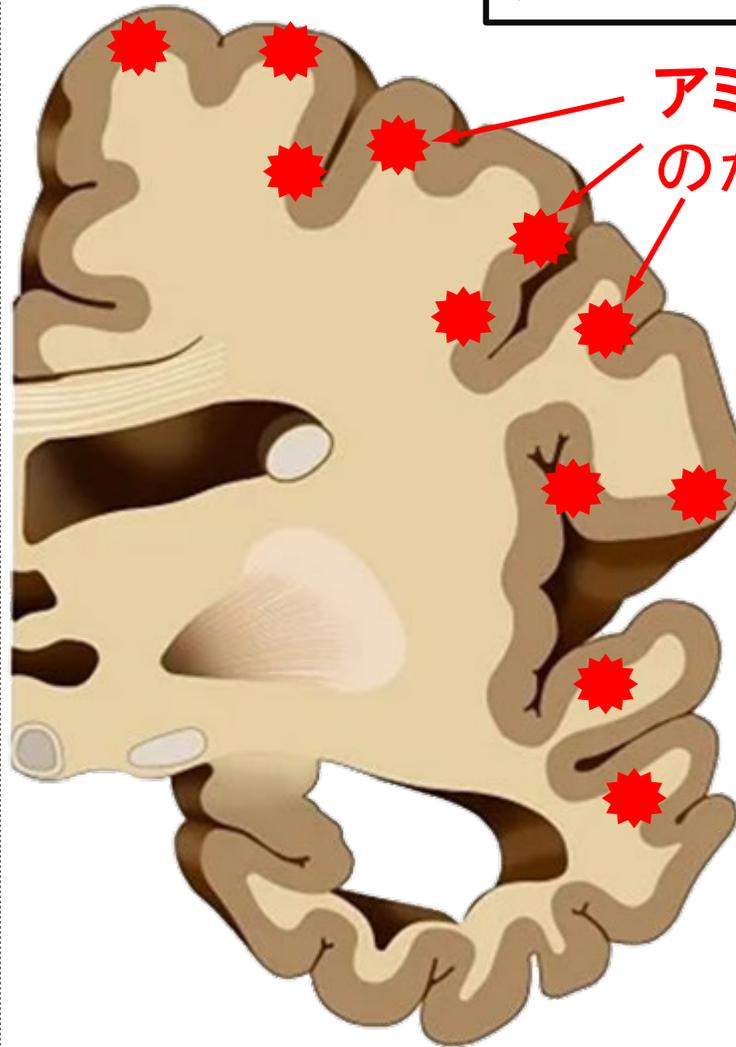


# アルツハイマー病は脳にゴミが溜まる病気

正常

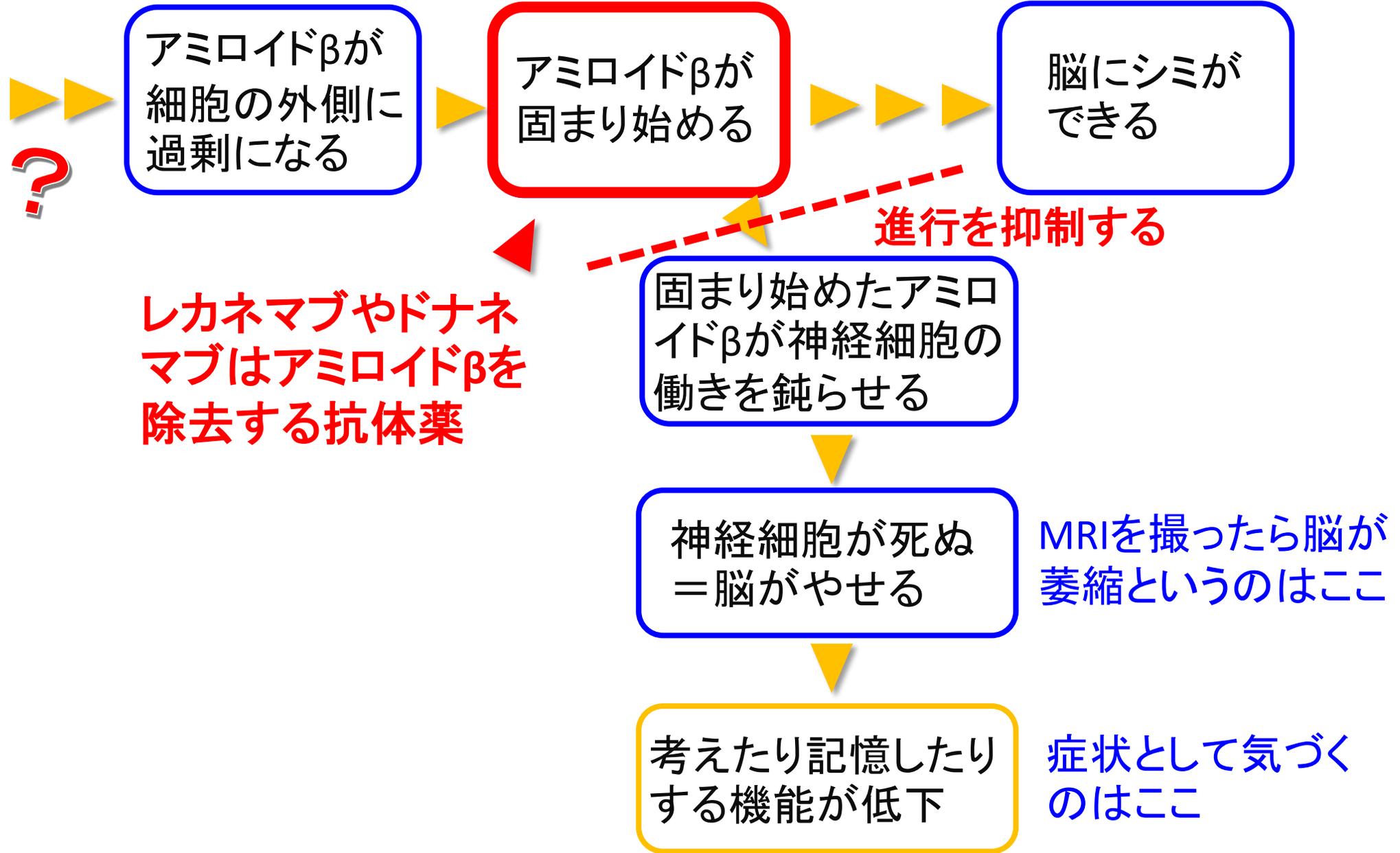


アルツハイマー病

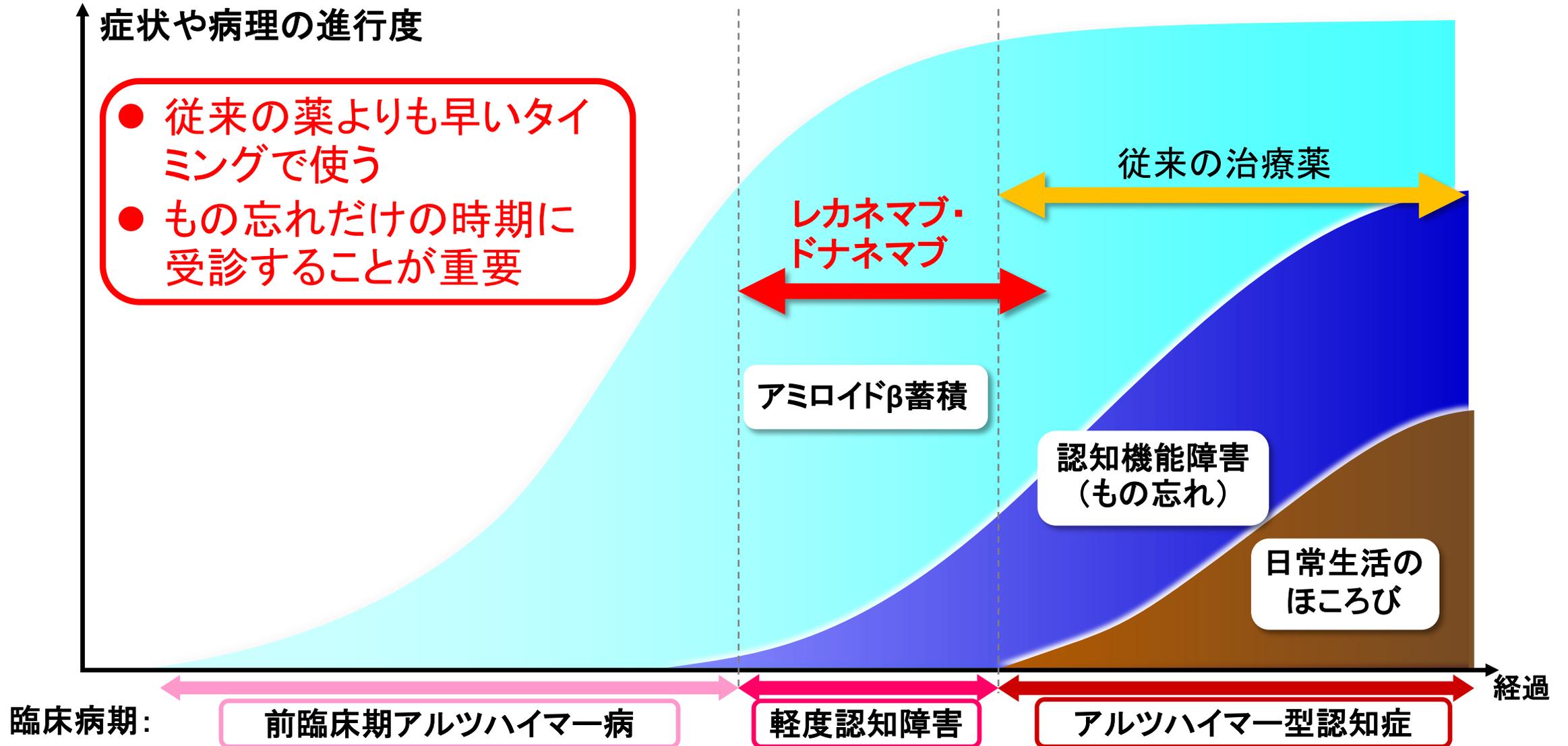


アミロイドβ  
のかたまり

# アルツハイマー病の脳では何が起きている？

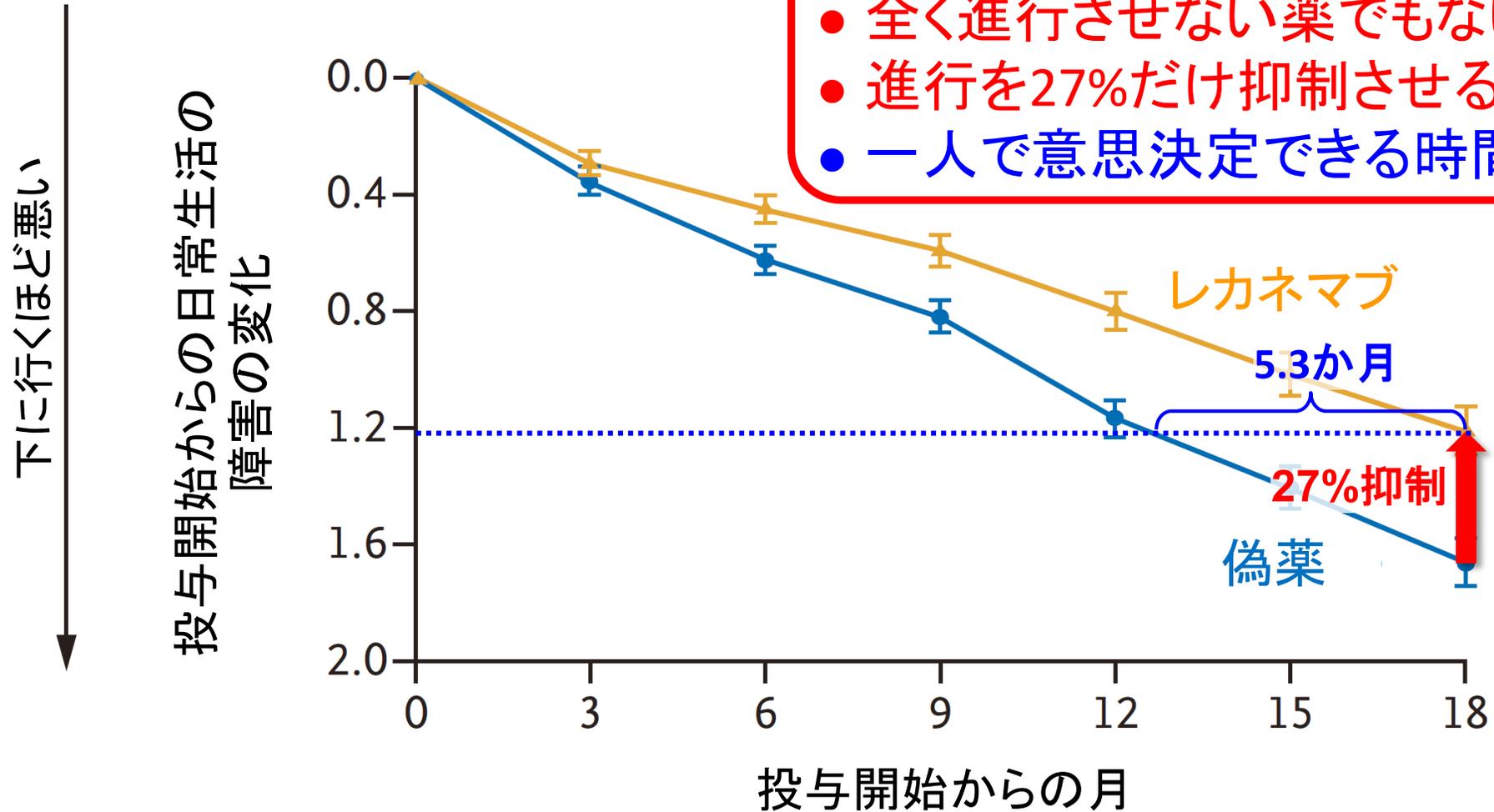


# “軽度認知障害 (MCI)” の時期が良いターゲット

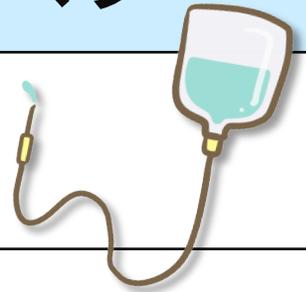


# レカネマブの効果ってどのくらい？

- 今ある症状を回復させる薬ではない
- 全く進行させない薬でもない
- 進行を27%だけ抑制させる
- 一人で意思決定できる時間を延ばす



# レカネマブの使い方や副作用

	従来の薬	レカネマブ・ドナネマブ
投与方法	飲み薬 貼り薬 	静脈からの点滴 
事前検査	なし	MRI アミロイドβの蓄積を調べる検査 認知機能検査
副作用	吐き気	脳のむくみや脳微小出血 ↓ 定期的なMRIが必要
費用	安価	高額

適正使用が強く  
求められる

# 抗アミロイドβ抗体薬の選択肢が増えました！

## ● レカネマブ(レケンビ®)



2023年9月本邦承認  
2023年12月20日発売

- 2週間に1回の点滴
- 原則18か月間

## ● ドナネマブ(ケサンラ®)



2024年9月本邦承認  
2024年11月27日発売

- 4週間に1回の点滴
- 12か月でアミロイドβが除去できていれば終了, そうでなければ18か月間

# 当院の抗アミロイドβ抗体薬診療の実際



他院

物忘れのある患者の紹介

物忘れ外来  
脳神経内科

鑑別診断と重症度評価

- 軽度認知障害または軽症の認知症
- MMSE ≥ 20
- 他疾患の鑑別(頭部CTや採血など)
- 点滴による治療の意向確認

DMT外来

抗アミロイドβ抗体の適応のさらなる評価

- 抗Aβ抗体とバイオマーカー検査の説明
- CDR
- MRI
- バイオマーカー検査

カンファランスで適応検討

検査結果の説明

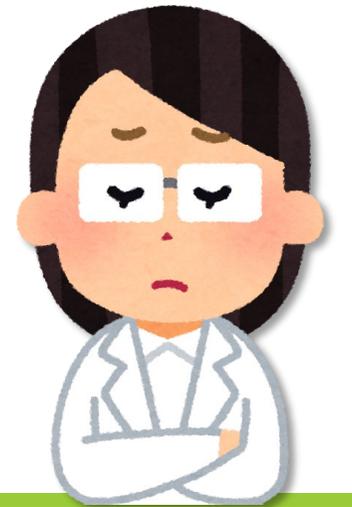
初回投与

# 抗アミロイドβ抗体薬診療の課題

- ◆ 投与可能な医療機関は、要件が厳しいため限られる
- ◆ 患者さんが負担に思うことは、医療機関にとっても負担
  - 2週間(4週間)に1回の点滴 → 点滴ブースのひっ迫
  - 定期的なMRIが必要 → MRI枠のひっ迫



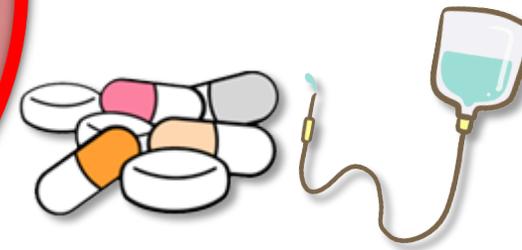
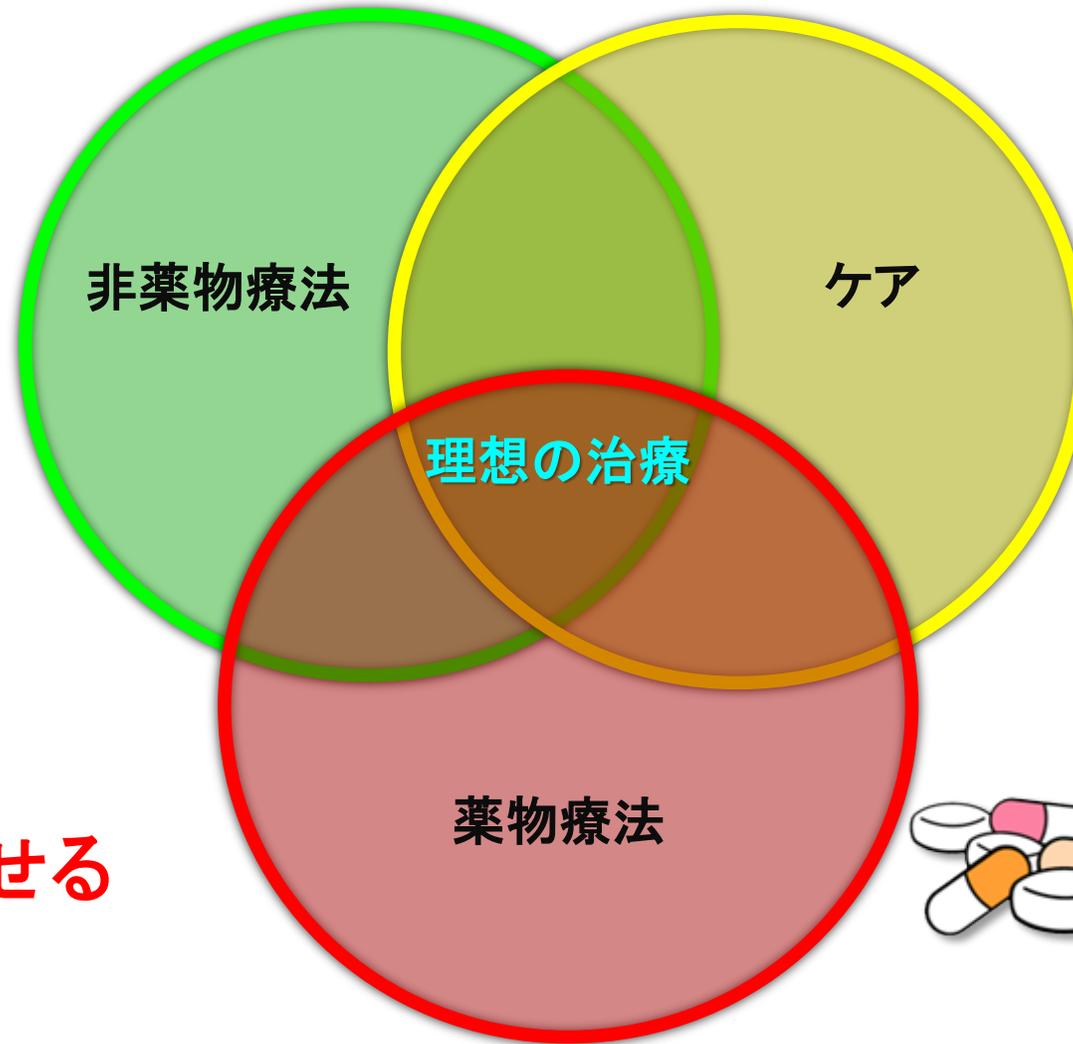
- ◆ 受け入れられる患者さんの数に限りが出てしまう



# 抗アミロイドβ抗体薬は治療の一部でしかない



Be socially active,  
physically active!



**3つを組み合わせる  
ことが大事！**

# おわりに

- ◆ アルツハイマー病は脳にアミロイドβと呼ばれるたんぱく質が溜まる病気です
- ◆ 新薬のレカネマブとドナネマブは、アミロイドβを除去する薬です
- ◆ これらは点滴の薬で、副作用に気を付けて慎重に使用します
- ◆ 患者の受け入れが限定されてしまう欠点を克服する、さらなる新薬の開発が進んでいます

一歩ずつ、一歩ずつ

